

一中だより

校訓 ～ 自主・創造・躍動

めざす生徒像 ～ 自ら学び 心豊かで たくましい生徒

岩内町立岩内第一中学校

電話 (0135) 62-0333

住所 岩内町字宮園 313 番

岩内第一中学校ホームページ<http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/dailchu/> 第8号 平成30年9月28日(金)

「人間関係」

校長 加藤 秀典

9月6日の未明に発生しました北海道胆振東部地震において、尊い命を亡くされた皆様にご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。私こと、実はこの一週間前にCS(コミュニティスクール)の視察として安平町に出向き、CSマイスター(前教育長)の豊島様より、CS導入に関わる経緯など貴重なお話を伺うことができました。その際、同席された教育委員会の中に、北広島市に勤めた時代の教え子が担当者として席を並べておりました。立派な姿に成長した教え子との再会に、心温まる喜びで帰路に着いて間もなくの出来事だったため、この震災は他人事ではなく身内の不幸としてショックでした。落ち着いたところを見図り電話とメールで連絡を取ったところ、教え子本人は大事には至らなかったものの、町の状況は大変のようで、その対応に休む暇なく活動しているとのことでした。一日も早く落ち着いた生活が取り戻されることを願うばかりです。

話は変わって、先日京都大学総長の山際壽一先生(霊長類学者)のインタビュー記事を読むことができました。そこには、「2045年に起こると言われているシンギュラリティ(人工知能(AI))が人間の知能を超える転換点:技術的特異点」をどう思いますか?という問いに、山際先生は、次のように答えておられます。

『AIがどう頑張ったところで、AIには理解できないものが残る』それは、【人間関係】と【死後の世界】である。人間関係については、正解がない。生身の人間は誰もがオンリーワンの経験値をもっているから、相手を100%理解することなどないという前提で、人間関係はむすばれている。いわば、曖昧さを前提として構築された人間関係は、AIには理解できない世界だ。AIは、データ化されない事象を扱うことはできないので、この二つは、この先AIがどれだけ進化するとしても理解はできないだろう。』と、おっしゃっていました。私はこの話を聞いて、人間の素晴らしさ、尊さを感じました。

子ども達は、まさにこの「人間関係」を今、学校で学んでいます。特に学校行事における活動は、より深く学ぶ機会とも言えます。クラスや学年が目指す「一中祭」の目標に向かって取り組もうとした時、必ずしも集団が同じ方向を向くとは限りません。意見の相違、価値観の違いなど、場合によってはぶつかり合うことも出ています。そんな時、相手を理解しながらいかに自分の思いを貫くか、または相手や周囲のために自分の思いをどう押し殺すかなど、ジレンマは絶えません。笑顔と涙、喜びと悔しさなど、一ヶ月余りの準備期間で、子ども達は様々な感情の中から多くの経験を重ね沢山のことを学びました。明日の「一中祭」本番では、全ての学級・全生徒の活躍から、この経験と学びの姿が目にすることができます。

是非、保護者・地域の皆様はその姿をご覧頂きたいと思っております。

2018 岩内第一中学校 一中祭 ～Go my own way～

岩内第一中学校一中祭を右の日程で開催いたします。

生徒たちは一中祭にむけて、

練習や準備に一生懸命に取り組んできました。

一中祭において活躍する生徒たちに、

ぜひ、ご声援いただきますようお願いいたします。

※ 日 時

平成30年9月29日(土)

※

開祭式 9:00 / 閉祭式 14:40

※ 会 場

岩内第一中学校 体育館

※ テーマ

『Go my own way』

一中祭開催に向け、町内の企業にもご協力を賜りました。

「体育館天井の電球交換」と「よさこい撮影の足場の設置」です。

いずれも、すべてボランティア(無償)で作業をしていただきました。詳しくはホームページをご覧ください!

職場体験学習

9月4日(火)・5日(水)

2年生が職場体験学習で町内の各事業所を訪問し、体験学習を行いました。生徒からは「大変だった」「きつかった」「頑張った」などの感想が聞こえてきました。また、14日(金)にはまとめの発表会も開催しました。



『働くことの意義』について学んだ、貴重な2日間となりました。

生徒会役員選挙

9月13日(木)後期生徒会役員選挙に関わる立候補者の立会演説会を行いました。新役員として10名の立候補者と責任者がステージに登壇し、新たな取り組みとしてのマニフェストを、全校生徒の前で堂々と訴えました。

立会演説会終了後は、その場で全校生徒による投票も行われました。放課後は、選挙管理委員によって開票作業が進められ、後期の新しい役員が決定しました。



平成30年度岩内第一中学校後期生徒会役員

会長：小松 玄尚 副会長：長谷山 麻姫・竹内 繪

書記：前川 了・吉本 拓真 会計：小野 耕太

学習委員長：熊野 来菜 生活委員長：山王丸 日向

保体委員長：浜辺 未来 広報委員長：北友 一冨

校内弁論大会

9月20日(木)、校内弁論大会を行いました。12名の代表生徒が学校や家庭等での生活を通して感じたこと、思ったことを自分の言葉にまとめ、発表を行いました。どの生徒も緊張した様子でしたが、一生懸命さが伝わる素晴らしい発表でした。



代表生徒は10月16日(火)に行われる岩宇地区弁論大会(会場：共和中)に出場します。

平成30年度岩内第一中学校校内弁論大会

1位 島 有里佳 (3-1)

2位 青柳 眞子 (1-1)、北野 紗依 (3-1)

3位 熊野 来菜 (2-1)、多賀 文哉 (2-2)、青塚 千夏 (1-1)

自然災害に学ぶ

台風・雷、そして先日の地震と停電。自然災害の印象を色濃く映した9月でした。地震などの大規模災害が発生したら？中学生にはもうその辺りを考えさせる必要があると思います。さらに、災害救助の場面では、中学生は「支援される側」ではなく、「支援する側」の立場になりつつあるという認識を持つことも大切かもしれません。

大規模災害発生時には、行政の防災関係機関は全力で活動を開始します。一方、非常時には多くの弊害が立ちほだかり、その活動が遅れることが容易に推測できます。そのような状況の中で危険が迫ってきたらどうするか？阪神・淡路大震災では7対2対1の原則というものがありません。7は自助、2は共助、1は公助という内容です。

大震災で生き埋めになった5万人について、自分で脱出した人と家族に助けられた人が7割。コミュニティー(地域)が助けた人が2割。その他、行政や自衛隊が助けた人は1割。これが7対2対1の原則というものです。

学校とコミュニティー(地域)の連携はとても重要です。防災訓練も一緒にしたほうがいいと思います。自分の身は自分で守ることとともに、人の繋がりをどうやってつくり上げていくのかが、重要です。

今回の災害を教訓として、ぜひご家庭でも、防災についてのお話をさせていただきたいと思います。

重ねてになりますが、今回の災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災地の1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

日	曜	10月の学校行事
1	月	振替休業 給食費等口座振替日
2	火	一中祭後片付け 全校朝会
3	水	
4	木	一斉専門委員会
5	金	
6	土	北海道卓球選手権(苫小牧)~8日 全日本春季少年軟式野球大会北海道予選会(滝川)~8日
7	日	
8	月	体育の日 岩内町民ロードレース大会
9	火	
10	水	3年生部活動中止
11	木	学力テスト(総合B)、職員会議
12	金	岩内高校体験入学
13	土	
14	日	NHK ジュニア卓球教室(共和)
15	月	
16	火	岩宇地区弁論大会(共和中)
17	水	避難訓練、後志中文連音楽祭
18	木	
19	金	
20	土	美術部さっぽろ美術館めぐり 北芸ジュニアアートグランプリ表彰式
21	日	うめや杯バスケットボール大会 町内小学校学芸会
22	月	
23	火	
24	水	4ブロック授業実践交流会
25	木	
26	金	小中学校音楽交歓会 小中学生書道園工美術展(~11/1)
27	土	吹奏楽部定期演奏会(文化センター) まなぶ杯卓球大会(共和)
28	日	
29	月	生徒総会
30	火	中文連英語暗唱大会(泊中)
31	水	給食費等口座振替日